

東北スポーツ地図

復活へ シュート ハンドボール 花巻市

(中)

今年1月中旬、花巻市総合体育館でハンドボールの日本リーグ花巻大会が開かれた。詰めかけた観客は約1500人。お目当ては大崎電気―大同特殊鋼戦だった。

大崎電気のエース宮崎大輔選手は、プロリーグのあるスベインに留学し、日本代表の

花巻では2004年度にも大崎電気戦が開かれており、2シーズン連続の開催になった。背景には「ハンドの街」花巻北高が、県教委の「地域シンボルスポーツ推進事業」の対象校に指定されたこと

を何度も制覇した花巻北高ハンドボール部の栄光の記憶が、関係者を奮い立たせた。

育成のために「ハンドボール花巻クラブJr」を設立した97年、市総合体育館が開館。当初計画された規模は小さかったが、市ハンドボール協会

地域ぐるみで大会誘致

エースとして活躍するスター選手。ルックスの良さなどが評判になり、テレビ番組や雑誌などにも登場する。会場では女性ファンらの歓声が響いた。

として地域ぐるみで再度、競技種目別に12の拠点校を定めて強化する施策。04、05年度の2年間、市教委は事業を活用し、対象を小中学生まで広げて実業団のコーチを招いた講習会などを

開いた。

推進事業の活用に向けて地域の雰囲気盛り上げたことが、それまで盛岡開催が続いていた日本リーグの大会を花巻に誘致するきっかけにもなった。

「レベルの高い大会を間近で見られるのは若い世代にとつて貴重。小中学生を対象にした講習会も開くことができ、事業は普及と強化で大きい役割」と、当時市教委で事業を担当した花巻北高OBの市職員高橋宏明さん(三互)は言う。

1970―80年代に県大会

日本リーグはホームアンドアウト方式で戦うため、第三地域での試合機会は少ない。

普及

花巻では09―11年度と3年連続で全国高校選抜大会が開催されることが決まっている。花巻空港や東北自動車道など高速交通網の環境が整



花巻で開かれた1月の日本リーグ大崎電気―大同特殊鋼戦。シュートする宮崎選手(右から2人目)ら一流のプレーに歓声が上がった